

岩手競馬組合への融資議案の修正案は、3月19日の臨時議会で可決されました。

平成19年度の競馬事業は融資案にあるように、赤字または赤字が見込まれる場合は廃止という厳しいものです。このことは、岩手県・盛岡市・奥州市・競馬組合・競馬に係る企業や関係者はもとより県議会議員そして県民も承知のことと考えています。

岩手競馬を県の事業と捉えれば、280億円以上の売上のある企業であり、廃止に伴う地域経済や雇用等に対する影響は計り知れないものがあります。しかし一方、税金を投入してまで、競馬事業を継続しなければならないのかという意見も多くあります。

県の提案を議会が修正し議案を可決した以上、今回の融資スキームをもって19年度以降の岩手競馬を運営しなければなりません。今までの競馬組合の体質や構成団体の対応では、同じ過ちを繰り返すことが予測されます。民主党岩手県総支部連合会は、19年度以降の岩手競馬に対し、次の考えを提言してまいります。

◎全国の地方競馬のなかでも優等生であった岩手競馬組合がここまで累積赤字が増加した原因を徹底的に検証することにより、責任の所在を明確にすることを求めます。

◎今年1年間を岩手競馬再生へのラストチャンスと位置付け、危機感を持った経営構造改革を競馬組合・競馬議会に求めます。

1. 競馬開催費、随意契約等の徹底的な見直しによる大幅なコストダウンを求めます。
2. 岩手競馬を県民に理解してもらい運動を関係者一体となり展開することを求めます。
3. 情報公開を徹底的に行うことで、早期に対策を講じる体質をつくることを求めます。

◎施策を講じた結果、赤字体質が解消されない場合、岩手競馬は廃止のスキームのもと岩手競馬組合の解散を求めます。

◎岩手競馬事業が危機を乗り越え、存続可能と希望に変えた場合、競馬事業本来の目的である県財政に寄与できる岩手競馬へと体質改善をさらに推進することを求めます。また、構成団体からの融資金を、少しでも早い段階での返済実現を求めます。

岩手競馬の問題を、単に競馬組合のみの問題としてではなく、県が出資する法人・団体等を含めた、県庁、県議会、県民の問題と捉え、これからの行政運営、議会運営をより厳密に実行し、県民本意の生活維新を成し遂げ希望王国岩手を実現します。